



2019年9月20日  
長野県厚生農業協同組合連合会  
佐久総合病院

報道関係各位

## プレスリリース

### JA 長野厚生連佐久総合病院 佐久医療センター 長野県下初、IMPELLA（制御装置）を導入

長野県厚生農業協同組合連合会 佐久総合病院佐久医療センター（佐久市中込 3400 番地 28、病院長：渡辺仁）は、主に重症心不全・心原性ショックに対して使用される補助循環器用ポンプカテーテル IMPELLA（読み：インペラ）を長野県内で初めて導入しました。

#### IMPELLA 概要

IMPELLA は小さなポンプカテーテルを血管から心臓に挿入し、心臓の働きを助ける装置です。急性心筋梗塞や劇症型心筋炎などで心臓の働きが急激に悪化する心原性ショックに対して主に使用されます。心臓に挿入されたポンプを駆動させることで心臓の血液を大動脈に送り出し、心臓の負担を軽減するとともに、弱った心臓の代わりに全身に血液を送り出す働きがあります。

#### IMPELLA 導入背景

これまで重症の心不全、心原性ショックに対して、大動脈内バルーン・パンピング(IABP)や経皮的心肺補助装置(PCPS)、補助人工心臓(VAD)などの補助循環装置が用いられてきました。しかし、IABP では補助の効果が小さく、PCPS では心臓の負担を軽減できない、VAD は開胸手術が必要で緊急の対応が難しく、体への負担が大きい、などの問題点がありました。IMPELLA は補助循環用のポンプカテーテルで緊急の場合速やかに足の血管から挿入でき、これまでの補助循環装置の欠点を克服した画期的な装置であり、当院でも実施施設認定の取得、制御装置の導入、医師や臨床工学技士、看護師、放射線技師など多職種によるトレーニングを経て 2019 年 8 月から臨床使用が可能となりました。

#### 今後の展望

当院は東信地区唯一の救命救急センターとして最新の治療を提供することで、一人でも多くの重症の患者さんを救命することを目標にしています。IMPELLA を導入することで、これまで救命の難しかった重症の急性心筋梗塞、劇症型心筋炎などの救命率が向上されることが期待されます。

#### 【報道機関から本件に関するお問い合わせ先】

佐久総合病院（本院） 広報課 担当：新海

TEL 0267-82-3131（代）

FAX 0267-82-7533（直通）

#### 受付時間

月～金曜日（祝日を除く） 8時30分～17時30分

第2、4土曜日（祝日を除く） 8時30分～12時30分